

いつも身近な存在でありたいと思っています

# 会宝通信 ~KAIHO Communication~

第120号

発行日 2011年11月1日発行

## 10月11日 JICA BOPビジネス連携促進採択

こんにちは、近藤です。描いていた一つの構想が現実味を帯びてきました。

日本が生産して使用済みとなった海外に走る自動車を、日本人として最終処理を適切に行いたい、自動車リサイクル業者として、私ができる環境への貢献です。

当社はこのほど、国際協力機構（JICA）の「協力準備調査（BOP（Base of the Pyramid）ビジネス連携促進）」に採択されました。これは、JICAが開発課題の解決に資するBOPビジネスの実施を検討している企業からの提案を募り、選定された案件の調査費用について最大5千万円まで負担するというものです。また、案件事業化についてのさまざまな側面支援を受けることができます。

昨年4月に国連工業開発機関（UNIDO）本部から7名がグリーンビジネス実態の視察ということで来社されました。当時UNIDOナイジェリア代表であった日本人の松下さんも一行の中におられ、「ぜひナイジェリアで、自動車リサイクル工場を立ち上げていただきたい」との言葉をいただきました。

9月にはナイジェリアからUNIDOの招聘でNAC（National Automotive Council）のルックマン次長が来社されました。ルックマン氏は自動車リサイクルの重要性を十分に認識しており、当社の現状をつぶさに視察されました。この両名は今回のBOPビジネスにおけるサポート役として正式に参加いただいています。

また、当地ナイジェリアのパートナーであるKaiho Sangyo (Nig) Co Ltdのジョン社長は猛烈な実行力で

毎日のように進捗状況を報告してきてます。

これだけの素晴らしい環境の中でJICAの支援を得て、これが実現しないはずがない、今は心からそう思っています。

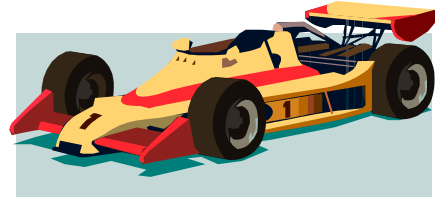


NAC ルックマン次長

合弁パートナー ジョン社長

# ～広報コーナー～ キラリと光る存在に

今月は、生産部の 水野 慎也さんから  
コメントをいただきました！！



・今月の出番・  
生産部  
水野 慎也さん

皆さまこんにちは。生産部品質管理課の水野です。

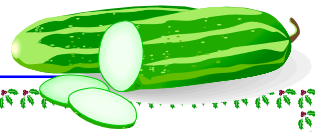
私は普段、解体用の車輛を保管してある第2プールというところで、車にエンジンが載った状態でエンジンのコンプレッションテストを行っています。

これは、会宝産業の品質規格である「JRS」に準じたものでここで測定したコンプレッションの数値等でお客様はエンジンの品質を判断されるので、日々より正確な検査を心がけて取り組んでいます。

「JRS」開始当初、コンプレッションテストを行っていたのは国産車のガソリン車の一部だけでしたが、現在は国産車のガソリン車についてはほぼ全て、その他一部のディーゼル車や外国産車もテストしています。

まだまだ課題も多いのですが、これらを1つずつクリアして行って、皆さまにより良いエンジンをお届けし「JRS」の普及に努めていきたいと思っております。

## 農業の取組み ～農業事業部より～



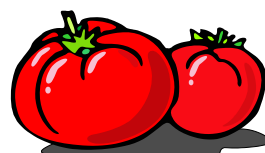
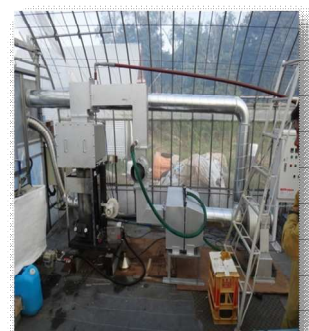
冬に向けての取組み ～ハウスの中にハウス～

今回の秋作は1月半ばまで収穫する予定ですので、気温の確保が重要になります。そこで廃油ヒーターと局所暖房装置の出番です。

まず廃油ヒーターですが、こちらは本来農家が暖房をするとき灯油を使用するのですが、それではエネルギーコストがかかりすぎてしまいます。そこで当社が毎年9万リットル確保できる廃油を使用することで冬場の栽培も栽培コストを気にせずに行えます。廃油ヒーターは2カ所まで通水することで発生した熱量を吸収し温水としてラジエータファンを通して温風を送ったり、栽培ベッドの底にあるパイプに送ることで地温の上昇もできます。ラジエータファンは廃油ヒーターのそばに置いて放熱により暖められた空気を吸って効率よく温風を送ることができます。

次に局所暖房ですが、これは写真のように栽培ベッドの周りを覆い、その中に通気ダクトを通して温風を送ります。これはハウス全体を暖めるよりもこうやって局部的に暖めたほうが効率よく、熱量も少なく済みます。

この2点により冬場でもおいしいトマトの栽培が可能になりました。すでに収穫も始まりましたので皆様お楽しみに！！



# 改善提案の事例

～在庫状況の“見える化”～

こんにちは。国内部品課の大坊です。  
今月は日頃皆さまから頂いている車輛から国内向けに外した部品の管理についてのお話です。

各会社で様々な方法で在庫管理を行っていると思いますが、当社では部品の格納をする際に車名・部品名等を記載した豆札を部品につけております。

今回は管理に使用している豆札を活用して在庫状況の“見える化”を図りました。



豆札は白色の物を基本としているのですが、定期的に他色の豆札を使うことで、在庫期間をパソコンを通さずに現場で判断が出来るというものです。

限られた場所での適性な管理を徹底したいと思います。



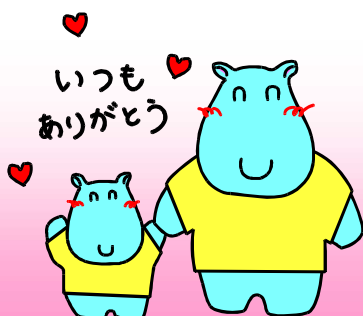
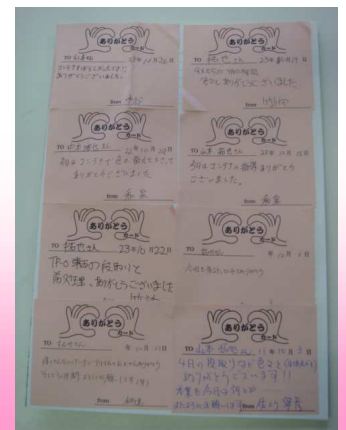
# 今月のありがとう

～感謝を形にした「ありがとうカード」～

こんにちは、国際業務部バイヤー管理課の山本です。

感謝の意で使用する言葉「ありがとう」ですが、表現しにくい、また恥ずかしい場面などもあるかもしれませんが、仕事でも私生活でも人と接する機会が多い中、「ありがとう」は毎日かせない言葉です。印象の有無ではその感謝が残らない、忘れてしまう場合もあります。

感謝を形にしたのが、この「ありがとうカード」です。仕事始めにこのカードを見る事で、昨日の感謝を受け取り、そしてノートに貼り保管することで、いつでも受けた感謝を忘れません。ノートを見返すことで励みにもなり、今日一日これからも頑張れると思えます。仕事の中だけでなく、私生活の中でも形に残せるような取り組みもいかもしれません。人の好意や態度などを気付けるようお互い気遣い合いながら、いつでも感謝の気持ちを形にできるよう、これからもカードに書いていきたいと思います。



# 相場はどうなの? ～生産部より～

こんにちは。会宝産業の山口です。10月も非鉄を中心に一喜一憂な毎日が続きました。欧州不安に加え、タイの洪水もあり、毎日大幅に値が動く状態が日常化してきているようにも思います。

急激に相場が下がったせいで市場が停滞し、物流なんかにも影響が出ているそうです。鉄に関しても例外ではなく、ジワジワ値下げを続けた結果、ちょうど1年前の相場に戻ってしまいました。

こんなとき、よく“少しでも高い所に売ろう”と考えがちになってしまいます。

私も例外ではありません。しかし、この考え方には内部の努力が何も入っていません。

少しでも高く売る前に、少しでも多く回収して多少安くても従来お世話になった取引先様に素材を販売するのも必要だと感じています。

10月度実績

入庫台数 1,135 台

処理台数 1,085 台

ありがとうございます



「元気ライスプロジェクト」(写真1枚で参加できるボランティア活動)

「写真を送る」という行動を、起こしていただいた皆様に感謝です。今後も出来ることから、進めていきますのでよろしくお願い致します。

●進捗報告

2011年10月31日現在 2,472 SMILE(544日経過)



## 今月のおまけ

～ Facebook ～

改めてですが、Facebookはご存じですか? 2004年にアメリカの学生向けに開始したサービスで、2010年にはサイトのアクセス数がGoogleを抜き話題になりました。日本版は2008年に公開され、世界では2011年9月現在で、8億人のユーザーを持つようになった世界最大のSNSです。(SNS/ソーシャル・ネットワーキング・サービス)

今年の1月、お客様に「元気ライスプロジェクトを応援したい」というFacebookページを作っていただきました。この方はWeb上で偶然「元気ライスプロジェクト」を知ったという仙台にお住まいの方です。この方から昨年の12月に、笑顔の写真と共に「Facebookで応援サイトをつくること」でこのPJに貢献したいというメールをいただいたのがページ作成のきっかけでした。とても誠実な方で、今でもページ運営などを共にやらせていただいております。

その方にもアドバイスをいただき、10月から会宝産業のページをつくりました。これは社内のメンバーで運営をしています。現段階では、HP更新のお知らせなどを発信していますが、今後少しずつアレンジしていければと思っております。



ぜひどちらのページも「いいね」クリックをお待ちしています!!

元気ライスプロジェクトを応援したいウェブサイト



## 会宝産業株式会社

〒920-0209  
金沢市東蚊爪町1-25  
車輛課 (車輛引取り・査定)  
TEL 076-237-5133  
FAX 076-237-1950  
Email: info@kaiho.co.jp

〒920-0209  
金沢市東蚊爪町1-23-3  
部品課 (部品注文/担当:大森・鹿野)  
TEL 076-237-5138  
FAX 076-237-6090  
Email: kokunai@kaiho.co.jp

ホームページもご覧ください。  
<http://www.kaiho.co.jp/jp/>